

教育心理研究部門

## 「人生のやる気デザイン」研究部会（第3回）

日時：2020年7月27日（月）13：00～16：00

場所：オンライン会議（ZOOMにより開催）

出席：渡辺弥生・榎本淳子・杉本希映・中井大介・中谷素之 各兼任研究員

吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香

欠席・倉住友恵 兼任研究員・鈴藤益弘

内容：（1）榎本淳子研究員の報告：日本の成人先天性心疾患患者は、他国と比較してなぜ生活に満足していないのか？

- ・慢性疾患の「病いの経験」「病みの軌跡」を考える→参考文献を4本紹介。先天性の慢性疾患/障害の「病いの経験」「病みの軌跡」は似ている。

（2）中井大介研究員の報告

1. 「恋愛」に対するパッションにフォーカスした研究

2. 「教育」に対するパッションにフォーカスした研究

- ・パッションの観点から青年期の恋愛関係を明らかにすることには一定の意義があると考えられる。教育とパッションの関連も今後検討したい。

（3）中谷素之研究員の報告：児童生徒の動機づけ—どのような教室環境が生徒の動機づけ・達成を支えるか。参考文献を紹介

Allen, J., Gregory, A., Mikami, A, Lun, J., Hamre, B. &Pianta, R. 2013

Observations of effective teacher-student interactions in secondary school classrooms:Predicting student achievement with the Classroom Assessment Scoring System-Secondary. School Psychology Review, 42, 76-98

（4）渡辺弥生研究員の報告：「小学校、中学校、高等学校の教師におけるソーシャル・エモーショナル・コンピテンスの理解について」調査研究の紹介

- ・教師自身のソーシャル・エモーショナル・コンピテンスの能力についての教師自身の自己評価を評定尺度法に基づいて明らかにすることを目的とする。

（5）杉本希映研究員の報告：グリットの規定要因は何か？

①先行研究より、個人特性と環境要因の双方から、グリットの規定要因を探る

②大学生の調査で、打ち込んできた活動とグリットの関係を検討する（ゼミ卒論）

③質的研究（インタビュー調査）の調査協力者の選定

・次回研究会は 2020年8月24日（月）13時～16時。Zoomで予定